

# 大淀中学校だより 『生』

祝 卒業

第 13 号

京都市立大淀中学校  
令和4年 3月15日  
文責 油谷

## 『大淀中学校の誇れる卒業生101名』、学舎を巣立つ

3月15日、学舎「大淀中学校」を101名の卒業生が「新たな自分さがしの旅」に巣立っていきました。これまでの3年間、本当によく頑張ってくれました。卒業式から式辞や祝辞などをまとめました。

### 来賓祝辞 PTA 藤下洋明会長

令和三年度の卒業式に際しまして、PTAを代表致しましてお祝いの言葉を申し上げます。

卒業生のみなさん、本日はご卒業誠にありがとうございます。また、本日の卒業式に至るまで、お子様を立派に育ててこられました保護者の皆様、重ねてお祝い申し上げます。

三年前の春、君たちがこの大淀中学校の門をくぐった日のことが、昨日のことにように思われます。月日は流れ、あの日とは比較できないくらいに成長した君たちを今日の前にし、充実した学校生活を送ったのだと感じています。

卒業生のみなさん、大淀中学校で過ごした三年間はどうか。

入学後すぐ、まだぎこちない中で臨んだ友愛の丘への校外学習、全校生徒で競い合った体育大会。また、上級生の迫力を目の当たりにした合唱コンクール。そんな楽しいイベントがずっと続くと思っていた1年生でした。しかし、年が明け、状況は一変しました。

それまで当たり前に通学して、当たり前で部活動を頑張ってきた君たちにとって、学校生活が根底から覆されたこの新型コロナによる活動自粛の波。我々大人すら対応しきれない程の生活環境の変化は、君たちにとっても非常に大きなストレスだったと思います。

しかしそのような状況下でも、やるべきことを見失わずにしっかりと学業や課外活動に力を注いだ君たちは、本当に立派でした。学年別開催になった体育大会や時間も内容も制限された部活動、リラックスできるはずの昼食の時間さえ黙食という制限がかけられましたが、この未曾有の国難の中、君たちは本当によく耐え、よく頑張ったと思います。

今日までの様々な出来事を胸に、君たちは九年間の義務教育課程を修了し、これまで経験したことの無い、広い世界へと一歩を踏み出そうとしています。世界情勢が目まぐるしく変化する現代社会において、君たちには更に自己の能力を高め、的確に状況を判断し、困難な場面を乗り切っていくスキルが求められています。どのような状況下に身を置くことになっても、この大淀中学校で得た知識と経験を基に、理想の実現に向けて邁進して欲しいと思います。

この先の十年間は、君たちの生涯の中でも最も変化の激しい時期となるでしょう。時には自分の力ではどうすることも出来ない、高い壁に遭遇することもあります。それを乗り越えるためにあらゆる努力を払っても、退かざるを得ない場面が必ず訪れます。もしこの先、どこかで行き詰り、進むべき道を迷うようなことがあれば、どうか思い出してください。君たちには、この大淀中学校で三年間を共にした仲間とお世話になった先生方、そして愛情にあふれる家族がいることを。そして、遠慮なく助けを求めてください。きっと誰もが喜んで君たちに力を貸してくれることでしょう。君たちは決して一人ではありません。失敗を恐れることなく、自分が正しいと思う道を歩んで欲しいと思います。

最後に私から君たちに、人生の先輩としてアドバイスです。

今日を最後に、君たちはこの大淀中学校を去ることになりますが、決して忘れ物を置いて帰らないでください。形あるものであれば、いつでも取りに戻れることは可能でしょう。しかしながら、君たちの心の中の忘れ物は、今日を限りに取りに戻れることは出来ません。

先生や友人に感謝の気持ちを伝え忘れていますか。些細なことで喧嘩をして、気まずいまの友人と仲直りするのを忘れていますか。自分の気持ちを誤魔化し、相手に本心を伝えるのを忘れたことにしていませんか。卒業証書を受け取り、最後に校門を出るまであと何分でしょうか。残された時間は本当にあと僅かです。人間誰しもやったことに対する後悔はすぐに消えてしまいますが、やらなかったことに対する後悔は一生心の奥に残るものです。その後悔はどれだけ年齢を重ねても、心の奥から消えることはありません。「あの時こうしておけばよかった。」「なぜあの時こう言えなかったのだろう。」

今ならまだ間に合います。これから先、大人になっても後悔し続けることの無いよう、自分に正直に、まっすぐに自分の本心と向き合ってください。そうすることで、君たちはより大きく、より強い人間に成長

そして今日以降は大淀中学校の卒業生としての誇りを胸に刻み、立派な大人になってくれることを、心から願っています。

さて、校長先生をはじめ教職員の皆様、今日までの長きにわたり、子供たちへ愛情あふれるご指導を賜りました事、保護者を代表致しまして厚く御礼申し上げます。コロナ禍での様々なイレギュラーな対応、感染予防対策に心身ともに疲弊しながらご対応頂きましたこと、本当に感謝の言葉もございません。生徒を想う先生方の姿はきっと子供たちの目に焼きついていると思います。そのような先生方の姿を見て大人になる子供たちは本当に幸せだと思います。これから先、この子供たちは先生方の教えを胸に人生の荒波に挑んでいくことになります。もし、この子供たちが心折れ、再び先生方を頼ってくるのであれば、どうかお力を貸してやって頂きたい心よりお願いを申し上げます。

本日ご臨席を賜りました地域諸団体の皆様、公私ともご多用のなか、子供たちの門出に花を添えて頂き誠にありがとうございました。子供たちがこの地域の更なる活力として成長していけますよう、これまで同様に卒業生ならびに在校生への温かいご指導と励ましを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

さあ、卒業生諸君、いよいよ旅立ちです。巣立ちの時です。顔を上げ、胸を張って、堂々と前へ進んでください。卒業おめでとう！

結びに、本日卒業する大淀中学校 第四十七期生の輝かしい未来と、本日ここに集われたすべての方々のご多幸を祈念致しまして、祝辞とさせていただきます。

令和 四年 三月 十五日  
京都市立大淀中学校 P T A  
会長 藤下 洋明

#### 答辞 前生徒会長 D. T

淀の河津桜は、空気を読んでくれず、この大事な日に桜が咲きませんでした。

これは多分、僕たちにまだ卒業して欲しくないのかもしれないかもしれませんね。

でも今日、3月15日に僕たち101名は、この大淀中学校を卒業します。

あっという間の3年間でした。3年前の春、みんなでこの大淀中学校に入学しました。

みんな体も小さくて、声も高くてかわいらしかったです。

入学してすぐに先生方の紹介がありました。その時に堀内先生がギターをもって歌い出しました。あの時はみんな驚きましたね。それを見て、中学校はこんなところなんだと思ってました。

でも少しずつ気付いてきました。中学校は至って普通だったということに。ただ、堀内先生がおかしかっただけです。おかしいという言い方は悪いですが、どこの中学校に行っても数学の時間にギターを持って歌うような先生は堀内先生しかいないと思います。こんなに面白い先生は本当にいないと思います。

橋元先生はとても物知りで、とても面白くて、礼儀正しくて、人としての見本になる様な先生です。

福田先生は一見クールに見えて、鋭い突っ込みをしてくださる面白い先生でした。

今は違う学校にいますが、安井先生はよく笑っていて、よく怒っていて、強がりな所もありました。でも誕生日を祝った時は、喋れないくらい泣いていました。

瀧澤先生は、国語の先生なのに数学の方ができて、写真を撮るのが好きな先生です。

藤田先生はたまにチクチクしてるけど、天然なところもあって、みんなのお母さんみたいな存在の人です。

奥田先生はめちゃくちゃ僕たちのことが好きで、みんなのことを全力でかわいがってくれる先生です。

山岡先生はとてもしっかりしていますが、どこか抜けてるところがあって、かわいらしい先生でした。

香山先生はすごく真面目で自分に厳しくて面白い先生です。

中嶋先生はいつも誰にでも優しく、勉強で困っている人がいたら、すぐに見つけて助けてくれる先生でした。美濃先生は体育の授業でしか一緒にいなかったけど、みんなと仲良くとても親しみやすい先生でした。

他にも校長先生を始めとし、こんな僕たちを見守り、応援してくださった教職員の皆様と過ごせた3年間は本当に幸せでした。このコロナ禍で、出来ないこともいっぱいありましたが、僕はこのメンバーで卒業できて悔いはないです。この学年には本当にたくさんの方がいます。3年間ずっと勉強頑張ってきた人。部活動

で高い目標に向かって本気で頑張ってきた人。毎日のように怒られてきた人。好きな人のためなら何でもしていた人。すごく身長が伸びた人。先生に反抗していた人。転校した人。あんまり学校に来れなかった人。

勢いで生徒会長になってしまった人。今ここで卒業式を迎えることが出来たみんな。全員大切な仲間です。そんなみんなと創った思い出をひとつひとつ振り返りたいところですが、泣いてしまう人もいると思うので、

これ以上語るのはやめておきます。卒業アルバムにはみんなの顔が載っているので、顔を忘れることはないと思いますが、写真には映らない思い出も忘れないでいて欲しいです。

ここからは少し、これからの話をしたいと思います。

これから新しいステージで部活動を頑張ろうと思っている人。勉強を頑張ろうと思っている人。まだ何をするか決まってない人。いろんな人がいると思います。ただ、何もしないと思っている人はいてほしくないです。何か小さいことでも良いので、目標を決めてそれに向かっていって下さい。もしその目標が達成されなくても、その目標に向かって頑張る姿は、誰よりも強く、格好良いです。（次号に続きます）